



山都町長

甲斐 利幸

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、本当にお世話になりました。またご指導賜り、ありがたく感謝し、お礼申し上げます。皆さまにとりまして、今年が幸多く素晴らしい年でありますように心からお祈りいたします。

旧年中の慌ただしい衆議院解散総選挙でしたが、自公政権は、320を超える議席を獲得し、圧倒的な安定多数の勝利を得ました。

早速、補正予算編成施策に矢継ぎ早の方針を打ち出しています。新政権が選挙におもねることなく、確かな国の方向を考えた権威ある政治を行って欲しいと期待しています。15ヶ月予算が20年近くに及ぶ日本の経済不況に対する効果的な経済対策に主軸を置いていることに賛意を表し、これに呼応して山都町の将来を見据えた町としての動きを進めます。

九州中央自動車道嘉島山都間の開通がもつインパクトに大きな望みを託して、早期整備に向け努力してきましたが、猫の目のように変わる方針に翻弄され続けました。今度こそ揺るぎない経済対策を考えての公共事業の推進を図って欲しいものです。

私たちは、次世代に対し夢を描ける条件整備を進める義務と責任があります。可能性をより大にする責任を思いながら町政を担当してきました。そのなかで、九州中央自動車道の整備こそ、町の過疎対策の特効薬と理解しています。今回の補正予算や新年度予算で相当規模の額を期待して、早速県選出国会議員に対し陳情しました。

積年の懸案でした新庁舎建設も、年度中の着工をめざしています。庁舎用地も完全に取得できたので、議会の理解を得て、整備着工を急ぎたいと考えています。町民の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、完成を楽しみに、今しばらくご協力をお願いします。そよう病院が旧年中に完成し、多くの方から評価を

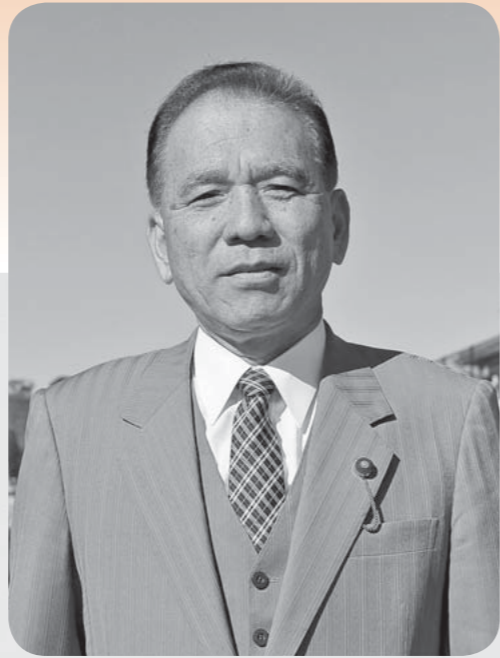
受けていますが、進入道の整備をもって、一応の整備計画は達成します。病院の内容充実にもがんばって信頼される地域医療をめざします。

去年の農業生産は、作物毎に状況がまだら模様でした。今年こそ農林畜産業が、そして商業が好調であることを願って、年頭に当たってのごあいさつとします。

には尽力されました。出処進退は世の常とは申しますが、長い間本当にご苦勞さまでした。私たちは、町民の皆さまの負託と、ご期待に添うべく心を新たにしたい。かけがえのないふるさと「山都町」の躍進の年となるように歩んでいかねばなりません。

皆さまのご健勝ご多幸を心からお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

行政



山都町議会議長

藤川 憲治

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、新たな決意と想いをもって、新しい年をお迎えのこととお喜びもうしあげます。「一年の計は元旦にあり」とは、使い古された言葉ですが、このような年が改まる区切りの時に、自分を振り返り、周囲の状況にも目を配りながら、新年の計画を立てることも、大変重要なことです。

昨年、我が国と関係の

深い国々で、指導者が交代、米国では大統領が再選されました。内外の政治、経済、社会情勢など厳しい環境の変化の中で、12月に衆議院議員選挙が行われ、3年あまりの民主党政権から、自公政権の安倍総理大臣が誕生しました。

円安株高の経済面での先行きの明るさも見えますが、デフレ脱却による経済の立て直し、東日本大震災被災地の1日も早い復興復旧、地方の再生と活性化、TPP参加問題など、課題解決のための安定した政権運営を望むものです。

昨年は、ロンドンオリンピックでの史上最多の金メダル獲得や女子の活躍、山中教授のノーベル賞受賞など、私たちに感動と元気を与え、夢と希望を持つことができる快挙が多くありま

した。

県政も、蒲島知事が2期目に入り、幸せ実感新4カ年戦略がスタートしました。

町政においても、計画どおり、そして着実に成果を上げてきました。農林業の振興、健康福祉の充実、道路網や観光面の整備、財政の健全化など枚挙にいとまがありません。私たち議員や首長は、4年に一度、住民の皆さまに審判を仰がねばなりません。今年2月に町長選挙、10月には町議会議員選挙があり、この町の未来を託する、一番身近な、関心のある選挙が行われます。今季限りで勇退される甲斐町長には、「愛町一路」の新年でこの町のため、町民のみなさまのため、日夜努力をいただき、特に合併後の一体感づくり

受けていますが、進入道の整備をもって、一応の整備計画は達成します。病院の内容充実にもがんばって信頼される地域医療をめざします。

去年の農業生産は、作物毎に状況がまだら模様でした。今年こそ農林畜産業が、そして商業が好調であることを願って、年頭に当たってのごあいさつとします。